M0011912B

UPSS

ONLINE UPS

UPSS-A3

バッテリボックス

バックアップ時間　30分用

取扱説明書

UPSソリューションズ株式会社

はじめに

このたびは、当社製品<Uninterruptible Power Supply **無停電電源装置 ＵＰＳＳ－Ａ３**（以下**ＵＰＳ**という）>および**バッテリボックス**をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様とサービス員※の安全を守るため、バッテリボックスの操作および取り扱い、保守時に守らなければならない重要事項が記載されています。バッテリボックスを正しく安全にご使用いただくため、ご使用の前には必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでもご覧になれる場所にＵＰＳの取扱説明書といっしょに保管してください。

目次

１．はじめに・・　ご使用の前にお読みください。 …… 1
- 1.1　型番とバックアップ時間の確認 …… 2
- 1.2　安全上のご注意 …… 3
- 1.3　使用上のご注意 …… 7
- 1.4　蓄電池設備の届出について …… 7
- 1.5　保証について …… 7
- 1.6　包装内容の確認 …… 8

２．外形寸法および各部の名称 …… 10
- 2.1　バッテリボックスの外形寸法および各部の名称 …… 10
- 2.2　ＵＰＳとバッテリボックスを組み合わせた場合の外形寸法 …… 11

３．バッテリボックスの設置・配線 …… 12
- 3.1　設置環境を確認する …… 12
- 3.2　設置スペースを確認する …… 13
- 3.3　ＵＰＳとバッテリボックスを縦に設置する場合 …… 14
- 3.4　ＵＰＳとバッテリボックスをラックに搭載する場合 …… 18
- 3.5　ＵＰＳとバッテリボックスを接続する …… 20
- 3.6　バッテリパックを搭載する …… 22

４．運転前の準備 …… 26

５．点検・保守 …… 28

６．仕様 …… 29

※サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

1．はじめに・・　　ご使用の前にお読みください。

バッテリボックスとＵＰＳを安全に設置し、正しくご使用いただくため、取扱説明書の手順どおりに作業してください。

ＵＰＳとバッテリボックスの組み合わせを確認する　⇒ 2 ページ

↓

安全上の注意を確認する　⇒ 3～6ページ

↓

使用上の注意を確認する　⇒ 7 ページ

↓

包装内容を確認する　⇒ 8～9 ページ

↓

ＵＰＳとバッテリボックスを設置、配線する　⇒ 12～21 ページ

↓

バッテリバックを搭載する　⇒ 22～25 ページ

↓

設置日シールを貼る　⇒ 25 ページ

↓

運転前の準備をする　⇒ 26～27 ページ、UPSS-A3 取扱説明書
- バッテリブレーカを「ON」にする
- 充電する
- 停電動作テストをする

この図がある項目は、UPSS-A3 取扱説明書に説明が記載されています。UPSS-A3の取扱説明書をご覧ください。

↓

運転する　⇒ 27 ページ、UPSS-A3 取扱説明書

※ご注意

※．UPSS-A3 取扱説明書、ＬＣＤパネル操作説明書はＵＰＳに添付されています。
ＵＰＳの設置、操作についての詳細は、UPSS-A3 取扱説明書をご覧ください。ＬＣＤパネルのメニュー、設定方法の詳細は、ＬＣＤパネル操作説明書をご覧ください。

1.1　型番とバックアップ時間の確認

このバッテリボックスは UPSS-A3 シリーズ専用のバッテリボックスです。ＵＰＳのバックアップ時間により接続するバッテリボックスの型番が異なります。下表でＵＰＳとバックアップ時間を確認し、下記の組み合わせであることを確認してください。
ＵＰＳおよびバッテリボックスの型番は、定格銘板 TYPE をご覧になり確認してください。

ＵＰＳ	バックアップ時間※1	ＵＰＳ				増設バッテリ			
		ＵＰＳ		バッテリパック※2		バッテリボックス		バッテリパック※2	
		型番	数量	型番	数量	型番	数量	型番	数量
UPSS-10A3-030RM	30 分	A11K102AU01SDN00	1	—		BCA11K009AU41SD0	1	—	
UPSS-15A3-030RM	30 分	A11K152AU01SDN00	1	—		BCA11K006AU43SD0	1	—	
UPSS-20A3-030RM*	30 分	A11K202AU01SD*00	1	BPA11K202AU0	2	BCA11K006AU53SD0	1	BPA11K202AU0	3
UPSS-30A3-030RM*	30 分	A11K302AU01SD*00	1	BPA11K302AU0	3	BCA11K006AU53SD0	1	BPA11K202AU0	3
UPSS-50A3-030RMT	30 分	A11K502AU01SDT00	1	BPA11K502AU0	3	BCA11K009AU52SD1	2	BPA11K502AU0	4

※1．バックアップ時間に対するＵＰＳの負荷力率が異なります。詳細は「6．仕様」をご覧ください。
※2．UPSS-10A3、15A3 の場合、バッテリパックはＵＰＳおよびバッテリボックスに搭載されています。

1.2　安全上のご注意

取扱説明書には、サービス員とお客様の安全を守るための重要な内容が記載されています。据え付け、運転、保守・点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、機器の取り扱い、安全の情報そして注意事項について確認してからご使用ください。
この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

⚠ 警 告
誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性のあること。 を示します。

⚠ 注 意
誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性があること。 を示します。

なお、⚠ 注 意 に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結びつくことがあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

取扱説明書中の図記号の例を次に示します。

図記号	記号の意味
⃠	**「してはいけないこと」禁止** を示します。 ：分解してはいけないことを示します。　：濡れた手で触ってはいけないことを示します。
●	**「必ずしなければならないこと」指示** を示します。 ：必ず守らなければいけない指示を示します。　：必ず接地しなければいけないことを示します。
△	**注意（警告を含む）** を示します。 ：一般的に注意することを示します。　：感電する可能性がある注意を示します。 ：火災、発煙の可能性がある注意を示します。

1．使用に関する注意

⚠ 警　告

- このバッテリボックスはUPSS-A3シリーズ専用の長時間バックアップ用の増設バッテリです。異なる機器に使用したり、指定以外の用途で使用すると、故障、感電、火災のおそれがあります。
- 次のような用途、負荷機器※には絶対に使用しないでください。
  - 人命に直接関わる医療機器などへの使用
  - 人身の損傷に至る可能性のある電車、エレベータなどの制御機器への使用
  - 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用
  - これらに準ずる装置

  上記負荷設備への使用に該当する場合は、事前に購入先または当社にご相談ください。
  人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備の設置など、運用、維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- バッテリボックスから異臭、異音がしたとき、また故障したときは、そのまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災のおそれがあります。すぐに停止し、購入先へ連絡してください。
- 本装置は日本国内仕様品です。日本国外で使用しないでください。日本国外で使用すると、電圧、使用環境が異なり発煙、発火のおそれがあります。

- バッテリボックスの改造、分解、修理はしないでください。バッテリボックスの内部は高電圧箇所などがあり、改造、部品交換などの作業をすると感電など事故の原因となります。これらの場合は保証の対象外となります。

※ 負荷機器・・・コンピュータなどＵＰＳへ接続する装置

2. 移動、輸送および移設時の注意

⚠ 注　意

- 移動、輸送および移設時に転倒、落下させないでください。けがのおそれがあります。
- 2人以上で作業し、腰痛予防に心掛けてください。
- バッテリボックスを縦にして移動する場合は、側面方向に10度以上傾けないでください。10度以上傾けると、バッテリボックスが転倒し、けがのおそれがあります。やむをえず、10度以上傾けて移動するときは、転倒防止対策をしてください。
- 移動、輸送の際に、バッテリボックスを不安定な場所に置かないでください。転倒、落下によりけがのおそれがあります。

3. 据え付け上の注意

⚠ 注　意

- 設置工事はサービス員が行ってください。
- 取扱説明書の指示どおりに設置工事をしてください。設置工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。

- 使用環境は下表のとおりです。指定の環境条件から外れる高温、低温、多湿となる場所に設置、保管しないでください。故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。

	温度	湿度（結露しないこと）
動作	-10 ～ +55℃	10 ～ 90%
保管	-15 ～ +60℃	10 ～ 90%

- 次のような環境で使用、保管しないでください。
  - 直射日光があたる場所
  - ストーブなどの熱源から熱を直接受ける場所
  - 火花が発生する機器の近傍
  - 粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所
  - 床の強度が不十分な場所
  - 振動、衝撃の加わる場所
  - 高い場所、不安定な場所
  - 濡れたり、結露したりする場所
  - 屋外
  - 換気機能のないラック
  - 標高2000mを超える場所
  - 船舶、飛行機、移動用車両の中など、その他特殊な環境。

- 床がぬれた状態や、手や身体がぬれた状態で作業しないでください。感電のおそれがあります。

- ＵＰＳおよびバッテリボックスは壁などから正面、背面、両側面に20cm以上の間隔をとって設置し、換気口はふさがないでください。換気口をふさぐと内部の温度が上昇し、バッテリなどの劣化により火災の原因になることがあります。
- 保守時に、正面に１m以上、背面に50cm以上のメンテナンススペースがとれるようにしてください。
- バッテリボックス周辺の換気をしてください。換気量（目安）は下表のとおりです。指定の換気量が確保されないと充電時バッテリから発生するガスにより容器の破裂または爆発の原因になることがあります。

ＵＰＳ	保持時間（分）	換気量(m^3/h)
UPSS-10A3	30	5
UPSS-15A3	30	6
UPSS-20A3	30	9
UPSS-30A3	30	12
UPSS-50A3	30	22

- 据え付けは、ＵＰＳおよびバッテリボックスの質量に耐える場所に取扱説明書のとおりに行ってください。据え付けに不備があると、バッテリボックスの転倒、落下などによりけがのおそれがあります。また、取り扱いには、腰痛防止に心掛けてください。
- 梱包のポリ袋やフィルム類、添付品のねじ類は幼児、子供の手の届かない場所に移してください。幼児、子供がフィルム類をかぶったり、ねじなどをのみ込んだりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

4．配線上の注意

⚠ 注　意

- 配線工事はサービス員が行ってください。
  配線工事に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。

- アースケーブルは取扱説明書に指定された方法で確実に取り付けてください。アースケーブルを接続しない場合には感電のおそれがあります。

5．使用上の注意

禁　止

- ＵＰＳおよびバッテリボックスは、工業環境下で、専門知識のある適格者による、据付・使用および保守が必要です。
  それ以外の環境、例えば、専門知識のある適格者がいない家庭環境などでは使用しないでください。
- バッテリボックスの上に腰掛ける、乗る、踏み台にする、寄りかかる、ということはしないでください。バッテリボックスの転倒などで、けがのおそれがあります。
- 使用しないコネクタのカバーは取り外さないでください。感電、および事故のおそれがあります。

- バッテリボックスの周辺で喫煙、火気の使用はしないでください。
  爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。

- バッテリボックスの上に花瓶など水の入った容器を置かないでください。
  花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、装置内部からの火災の原因になることがあります。

- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。感電のおそれがあります。

⚠ 注　意

- 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めてＵＰＳおよびバッテリボックスに触れないでください。落雷の際に感電するおそれがあります。
- ＵＰＳ、バッテリボックスを操作する前に負荷側の安全を確認し、取扱説明書にしたがって運転操作をしてください。
  不用意な給電は、感電、事故のおそれがあります。

6．保守･点検上の注意

⚠ 注　意

- サービス員以外は、内部の点検、修理をしないでください。
  感電、けが、やけど、発煙、発火などのおそれがあります。
- バッテリボックスのカバーは開けないでください。感電、および事故のおそれがあります。

- バッテリボックスの修理または故障部品の交換は、購入先へ依頼してください。
  カバーを開けると感電、やけどのおそれがあります。
- バッテリは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたバッテリは火災の原因になることがあります。

- バッテリの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や中性洗剤などの洗剤を使用しないでください。
  これらを付着させると電槽にひびや割れを起こし漏液して、漏電や火災の原因になることがあります。
- ＵＰＳおよびバッテリボックスのバッテリコネクタに金属棒や指などを差し込まないでください。感電、やけどのおそれがあります。
- 交流入力電源を切断し、バッテリを取り外しても内部部品には手を触れないでください。
  高電圧が残留している部品があり、感電のおそれがあります。

7. バッテリに関する注意

⚠ 注　意

- 使用期限の過ぎたバッテリは使用しないでください。発煙、発火の原因になることがあります。また、停電時に使用できず、負荷機器を停止させる可能性があります。
- サービス員以外はバッテリの保守・点検を行わないでください。専門知識のない方はバッテリに触れないようにしてください。

- バッテリを交換する際は、このバッテリボックスに使用されているバッテリと同型のものを使用してください。不適切なタイプのバッテリに交換すると爆発の危険があります。
- 使用済みのバッテリは、そのまま廃棄せず、購入先にご連絡ください。ＵＰＳのバッテリは、鉛蓄電池です。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源ですのでバッテリの交換および使用済みバッテリの廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。
- バッテリは感電の危険がある高短絡電流を発生することがあります。バッテリを保守・点検するときは、つぎの予防をしてください。
  - 時計、腕輪などの金属物を外すこと。
  - 絶縁された工具を使用すること。
  - ゴム製の手袋、および靴を着用すること。
  - 工具または金属部品をバッテリの上に置かないこと。
  - バッテリ端子を接続または取り外す前に、充電用電源を切ること。

- バッテリを開いたり切断したりしないでください。内部には電解液の希硫酸が含まれています。希硫酸は劇毒物で皮膚や目に非常に有害です。バッテリが漏液した場合は皮膚や衣服に付着させないでください。希硫酸が目に入ると失明、皮膚に付くと火傷のおそれがあります。また、導電性、腐食性があります。つぎの注意事項を守ってください。
  - 眼は完全に保護し、保護衣類を着用すること。
  - 希硫酸が皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流すこと。
  - 希硫酸が眼に付着した場合は、直ちに水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
  - 漏液した希硫酸は酸中和剤（約500gの重炭酸ソーダを約4ﾘｯﾄﾙの水に溶かした溶液）で洗い流してください。その後、溶液を水で洗い流し乾燥させてください。
- 鉛酸バッテリは水素ガスを発生するため、火災が発生する危険があります。つぎの注意事項を守ってください。
  - バッテリ周辺で喫煙しないこと。
  - バッテリ周辺で火またはスパークを発生させないこと。
  - 保守・点検の前に静電気を取り除くこと。
- バッテリを火の中に捨てないでください。バッテリが爆発する可能性があります。

- バッテリの発火時には、消火のために水を使用せず、粉末(ABC)消火器を用いてください。水を使用すると、火災を拡大させる原因になることがあります。
- バッテリを漏液、発熱、爆発させる原因になることがあります。つぎの注意事項を守ってください。
  - バッテリに直接はんだ付けしないこと。
  - バッテリのプラス端子(+)とマイナス端子(-)を逆にして充電しないこと。
  - バッテリの種類･メーカ名･新旧異なるものを混ぜて使用しないこと。
  - バッテリの外装チューブをはがしたり、傷をつけないこと。
  - バッテリに強い衝撃を与えたり、投げつけないこと。
  - バッテリの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や中性洗剤などの洗剤を使用しないこと。
  - 使用済みバッテリでも電気エネルギーが残っているので、スパークやショートをさせないこと。

1.3　使用上のご注意

⑴　電源環境について
長時間停電が頻繁（週１回以上）に発生する環境で使用すると、バッテリが十分充電されなかったり、バッテリの劣化が早まるためバッテリ寿命が著しく短くなることがあります。

⑵　長期間ＵＰＳ、バッテリボックスを使用せず、保管する場合はバッテリの補充電が必要です。補充電を行わないまま放置するとバッテリの寿命が著しく短くなることがあります。下表のようにＵＰＳ、バッテリボックスの保管環境により、「４．運転前の準備」で指定された時間、ＵＰＳを運転して補充電を実施してください。充電方法の詳細は、ＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。なお、40℃以上の環境で長期間保管するとバッテリが著しく劣化しますので、この場合はバッテリの交換が必要です。

保管温度環境	補充電
２５℃	６か月／１回
３０℃	４か月／１回
４０℃	２か月／１回

⑶　ＵＰＳ、バッテリボックスを廃棄するときは産業廃棄物として適切に廃棄処理してください。
なお、バッテリボックスに搭載されている鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源ですのでバッテリの交換および使用済みバッテリの廃棄に際しては、鉛蓄電池のリサイクルにご協力ください。

ご注意

ＵＰＳの使用上のご注意は、ＵＰＳの取扱説明書に記載されています。バッテリボックスを使用するときは、ＵＰＳの取扱説明書も合わせてお読みください。

1.4　蓄電池設備の届出について

バッテリボックスは、下表の容量のバッテリを搭載しています。
ＵＰＳを設置する同一室内に、ほかの蓄電池を搭載した機器が設置されている場合など、バッテリの合計容量が4,８００Ah･セル以上になる場合は、火災予防条例により届出義務があります。最寄りの消防署に連絡してください。

ＵＰＳ	バックアップ時間	バッテリボックス		合計容量　Ah･セル※1
		型番	容量　Ah･セル	
UPSS-10A3	30 分	BCA11K009AU41SD0	216	432
UPSS-15A3	30 分	BCA11K006AU43SD0	432	720
UPSS-20A3	30 分	BCA11K006AU53SD0	540	900
UPSS-30A3	30 分	BCA11K006AU53SD0	540	1,080
UPSS-50A3	30 分	BCA11K009AU52SD1 × 2	540 × 2	1,890

※1．ＵＰＳ内蔵のバッテリとバッテリボックスのバッテリの合計値です。

1.5　保証について

バッテリボックスの保証は、ＵＰＳの保証に準じます。UPSS-A3の取扱説明書「ＵＰＳの保証について」をご覧ください。

1.6 包装内容の確認

包装を開きましたら、包装内容をご確認ください。
バッテリボックス、バッテリパック、添付品はすべてそろっていますか？ 外観に損傷、異常はありませんか？

☑ チェック印で確認してください。

万が一異常がありましたら、購入先または当社までご連絡ください。

各ＵＰＳのバッテリボックスとバッテリパックの数量は下記のとおりです。ＵＰＳにより添付されるバッテリパックの数が異なります。下表で確認してください。

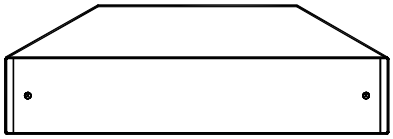
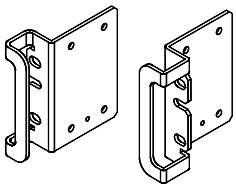
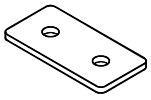
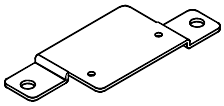
ＵＰＳ	UPSS-10A3	UPSS-15A3	UPSS-20A3	UPSS-30A3	UPSS-50A3
バッテリボックス数	1	1	1	1	2
バッテリパック数 ※1	バッテリボックスに搭載されています。		３（5）	３（6）※2	４（7）

※1．UPSS-10A3、15A3の場合、バッテリパックは添付されません。（ ）内の数量はＵＰＳに搭載するバッテリパックの数を含めた値です。
※2．バッテリボックス用とＵＰＳ用のバッテリパックの型番は異なります。22ページの表をご覧になり確認してください。

バッテリボックス

下表は、1台のバッテリボックスの包装内容です。

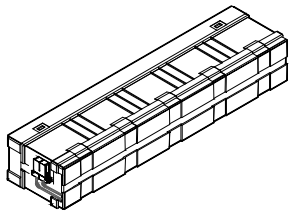
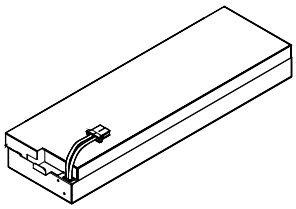
図はイメージです。実際のものと形状は異なります。

物品	数量	確認	物品	数量	確認
バッテリボックス ※3 	1	☐	取扱説明書（本書）	1	☐
ラック取付金具 右用 	1	☐	バッテリ接続ケーブル ※3	1	☐
ラック取付金具 左用	1	☐			
上面連結金具 ※3 	1	☐	床固定金具 UPSS-10,15,20,30A3 の場合 	4	☐
			床固定金具 UPSS-50A3 の場合	2	☐
ラック取付金具、上面連結金具用ねじ（黒）M4×6	4	☐	床固定金具用ねじ（銀）M4×6 UPSS-10,15,20,30A3の場合	8	☐
			UPSS-50A3 の場合	4	☐
背面連結金具	1	☐			

※3．バッテリボックス、バッテリケーブル、上面連結金具は、接続するＵＰＳおよびバックアップ時間により形状が異なります。
「2．外形寸法および各部の名称」をご覧になりご使用になるバッテリボックスの形状を確認してください。

バッテリパック

下表は、1つのバッテリパックの包装内容です。

UPS	物品	数量	確認	物品	数量	確認
UPSS-20A3 UPSS-30A3	バッテリパック：BPA11K202AU0 	1	☐	設置日／バッテリ交換日シール 	1	☐
UPSS-50A3	バッテリパック：BPA11K502AU0 	1	☐	設置日／バッテリ交換日シール 	1	☐
				ケーブル固定具 （バッテリボックスでは使用しません。） 	2	☐

UPSの譲渡または売却時のご注意

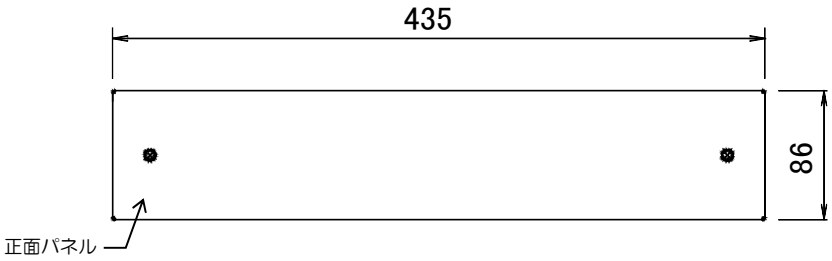
UPSを第三者に譲渡または売却する場合は、添付されているすべてのものを譲渡または売却してください。

2. 外形寸法および各部の名称

2.1 バッテリボックスの外形寸法および各部の名称

単位：mm

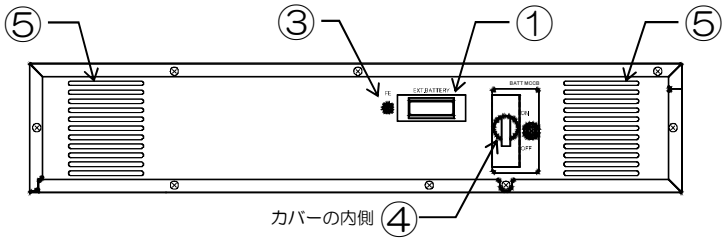
正面



背面

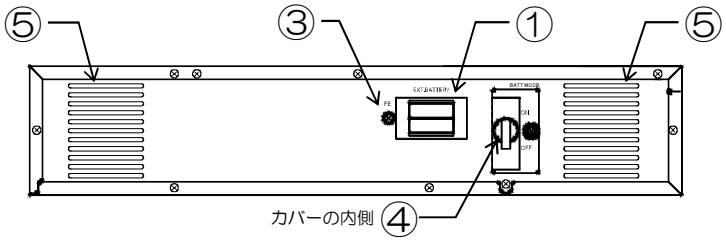
UPSS-10A3 30分

UPSS-15A3 30分



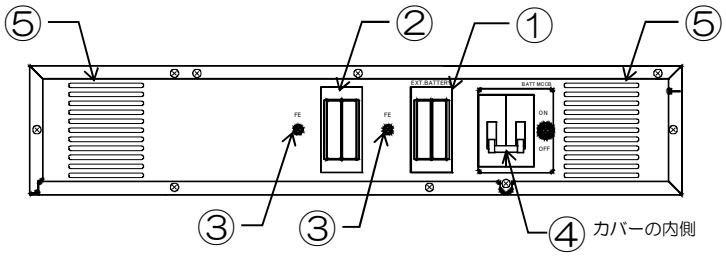
UPSS-20A3 30分

UPSS-30A3 30分



UPSS-50A3 30分

バッテリボックス2台接続



取扱説明書の説明図はイメージです。実際のものとは異なる場合があります。

番号	名　称	本体の表示	機　能
①	増設バッテリコネクタ	EXT.BATTERY	ＵＰＳとバッテリボックス間のバッテリ接続用
②	増設バッテリコネクタ	－	バッテリボックス間の接続用
③	アース接続端子	FE	ＵＰＳとバッテリ盤、およびバッテリ盤間のアース接続用
④	バッテリブレーカ	BATTERY MCCB	バッテリ回路の保護
⑤	換気口	－	バッテリボックス内の換気用

2.2 ＵＰＳとバッテリボックスを組み合わせた場合の外形寸法

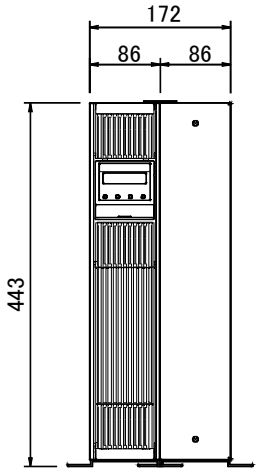
下図は、縦置きに設置した場合の正面外形寸法を示します。

単位：mm

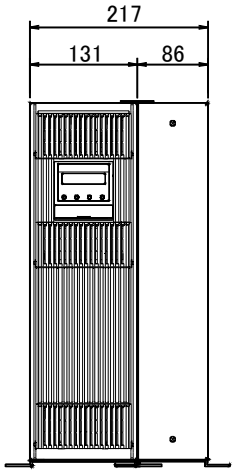
UPSS-10A3　30 分

UPSS-15A3　30 分

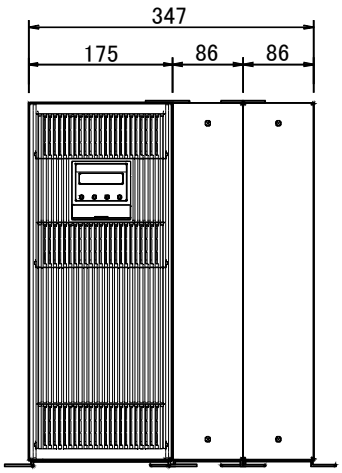
UPSS-20A3　30 分



UPSS-30A3　30 分



UPSS-50A3　30 分



質量および奥行き寸法は下表のとおりです。奥行き寸法に突起物は含みません。

モデル		ＵＰＳ	バッテリボックス	合計
UPSS-10A3　30分	質量　(kg)	22	20	42
	奥行き (mm)	440	440	—
UPSS-15A3　30分	質量　(kg)	29	40	69
	奥行き (mm)	488	488	—
UPSS-20A3　30分	質量　(kg)	40	50	90
	奥行き (mm)	625	625	—
UPSS-30A3　30分	質量　(kg)	58	50	108
	奥行き (mm)	625	625	—
UPSS-50A3　30分	質量　(kg)	80	48 × 2	176
	奥行き (mm)	690	690	—

3. バッテリボックスの設置・配線

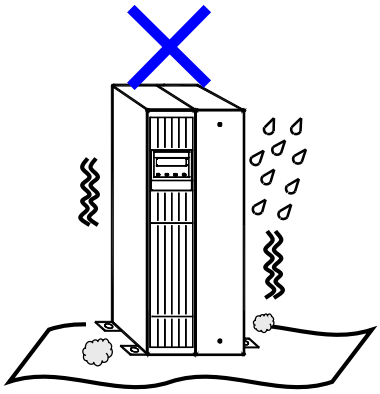
⚠ 注 意		• サービス員以外は設置・配線作業をしないでください。取扱説明書の指示のとおりに設置・配線作業をしてください。設置・配線工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。 • ＵＰＳの運転が停止している状態で作業をしてください。感電のおそれがあります。
		• ＵＰＳおよびバッテリボックスの質量に耐える場所、転倒、落下のおそれのない平らな場所、また振動、衝撃の少ない場所に、取扱説明書のとおりに設置してください。ＵＰＳおよびバッテリボックスの転倒などにより、けがのおそれがあります。 • 安全靴を着用して設置作業をしてください。移動、据え付け時にＵＰＳおよびバッテリボックスを落下させるおそれがあります。ＵＰＳおよびバッテリボックスの底部を両手でささえ据え付けてください。ＵＰＳおよびバッテリボックスを持ち上げる際には、必ず二人以上で作業してください。けがのおそれがあります。 • 設置の際に手などをはさまないように注意してください。また、腰痛予防に心がけてください。

3.1 設置環境を確認する

設置環境： 温度 -10～55℃、相対湿度10～90%（結露しないこと）

つぎのような場所には設置しないでください。

- 接地できない場所
- 周囲温度が55℃を超える場所 ※1
- 高湿度の場所
- 塩分や腐食性ガスのある場所
- 振動、衝撃のある場所
- ホコリの多い場所
- 屋外
- 換気機能のないラック ※2
- 標高2000mを超える場所 ※3
- 船舶、飛行機、移動用車両の中など、その他特殊な環境



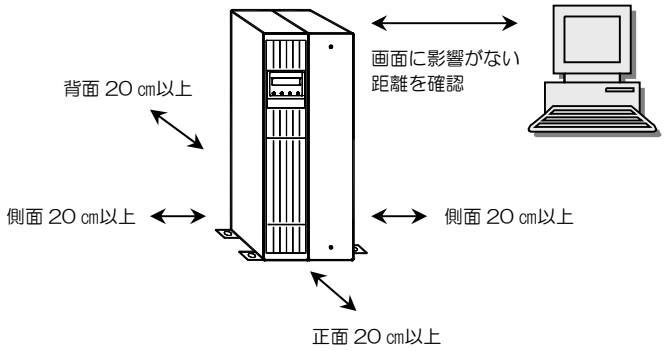
※ご注意

※1．周囲温度が 30℃以上の環境で使用するとバッテリの寿命が短くなります。また、40℃を超えるとバッテリの充電が停止しますので十分にバックアップすることができなくなります。通常は 20～25℃で使用、管理することをおすすめします。
※2．換気機能のないラックに取り付ける場合は、ラックに換気用のファンモータを取り付けるなど対処をして、ＵＰＳ周辺の換気ができるようにしてください。
※3．標高1000mを超える場所に設置する場合は、接続する負荷機器を減らしてください。
※4．ＵＰＳを設置する同一室内に、ほかの蓄電池を搭載した機器が設置されている場合など、バッテリの合計容量が4,800Ah･セル以上になる場合は届出が必要です。設置する室内の機器を確認してください。

3.2 設置スペースを確認する

⚠ 注 意		ＵＰＳおよびバッテリボックスの周辺には指定されたスペースをとり、換気ができるようにしてください。指定の換気量が確保されないと装置内部の温度が上昇し、発煙、発火、火災が発生する危険があります。

ＵＰＳおよびバッテリボックスは、下図に示すスペースをとって設置してください。



- 正面20㎝以上　：冷却用ファンの吸気スペース
- 背面20㎝以上　：冷却用ファンの排気スペース
- 両側面20㎝以上　：バッテリボックスの換気スペース
- ＣＲＴディスプレイに影響のない距離　：わずかですが漏れ磁束があります。ＣＲＴディスプレイに画面揺れなどの影響を与える場合がありますので、画面を確認して設置してください。
  そのほか、磁束による影響を受けやすいものは間をあけてください。

設置時のご注意

- ＵＰＳおよびバッテリボックスの周囲温度が高いと、ＵＰＳおよびバッテリの寿命に影響があります。排気経路を考慮して周囲スペースをとるなど、装置の周囲温度が高くならないように注意してください。
- 保守時に、正面に１ｍ以上、背面に50cm以上の作業用スペースがとれるように考慮してください。

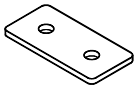
3.3 ＵＰＳとバッテリボックスを縦に設置する場合

注 意

- ＵＰＳおよびバッテリボックスは床に固定してください。確実に固定されていないと地震などの衝撃、振動により、移動、転倒し、けがのおそれがあります。
- バッテリボックスとＵＰＳは連結金具で確実に固定してください。地震などの衝撃、振動により、ＵＰＳおよびバッテリボックスの移動、転倒などで、けがのおそれがあります。

ＵＰＳとバッテリボックスを設置します。

① 下記の添付品のを用意します。
下記の数量は、１台のバッテリボックスの設置に必要な数量です。UPSS-50A3 の場合は、２台分必要です。

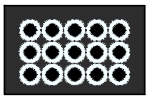


上面連結金具　１個

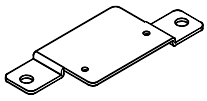
上面連結金具用ねじ（黒）4個
M4×6

使用するねじは２個です。
２個のねじは使用しません。

背面連結金具　１個



穴埋めシールのシート　１枚
（ＵＰＳの添付品です。）



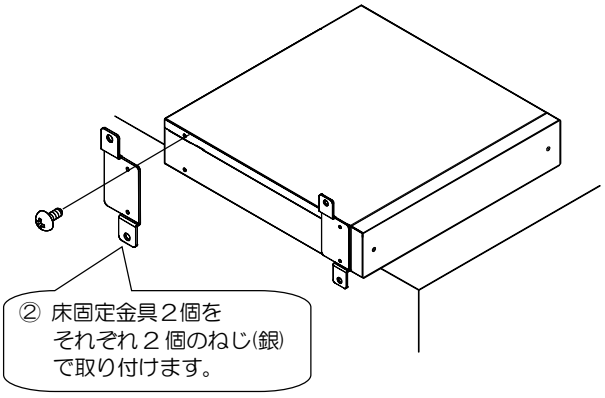
床固定金具 ※

床固定金具用ねじ（銀）※
M4×6

※．添付されている数、用途は下表で確認してください。

UPSS	添付数量		説明
	床固定金具	ねじ	
10A3 15A3 20A3	4	8	ＵＰＳとバッテリボックス用。
30A3	4	8	バッテリボックス用。 床固定金具 2 個、ねじ 4 個は使用しません。
50A3	1 台分　2	4	バッテリボックス用。
	合計　4	8	バッテリボックス 2 台分準備してください。

② バッテリボックスおよびＵＰＳを机などの台の上に横置きにして、左側面の取付穴にねじで床固定金具を取り付けます。



ご注意

- 床固定金具の取り付けには、床固定金具用のねじ（銀色）を使用してください。連結金具およびラック取付金具用のねじ（黒色）を使用しないでください。
- 縦置きにする場合は、安全のため、必ず床固定金具を取り付けてください。
床固定金具が取り付けられていないとバッテリボックスおよびＵＰＳが転倒するおそれがあります。

使用する床固定金具はＵＰＳにより異なります。下表で確認してください。

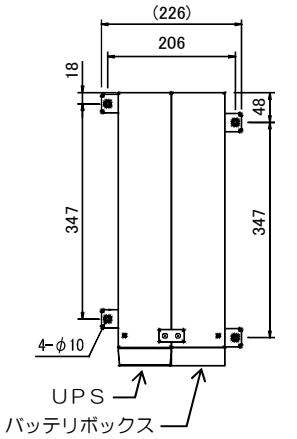
ＵＰＳ	説明
UPSS-10A3，15A3，20A3	バッテリボックスに添付されている床固定金具を使用します。 ＵＰＳに添付されているスタンドは使用しません。
UPSS-30A3，50A3	ＵＰＳに添付されている床固定金具を使用します。

ＵＰＳを縦に設置する場合、ＬＣＤパネルを縦向きにします。詳細はＵＰＳの取扱説明書「ＵＰＳを縦に置く」をご覧ください。

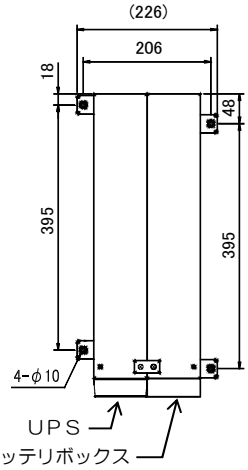
③ 床に固定する必要がある場合は、据え付け場所の床に、床固定用の穴をあけます。下記の床固定寸法図で寸法を確認してください。

床固定寸法図（上面視）

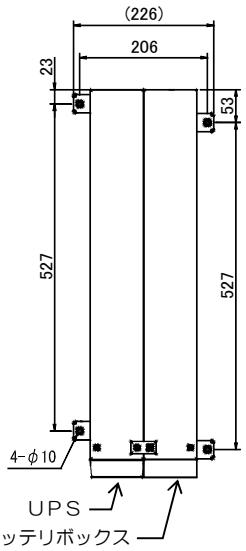
UPSS-10A3　30 分



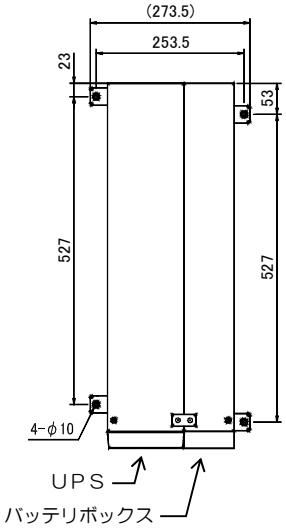
UPSS-15A3　30 分



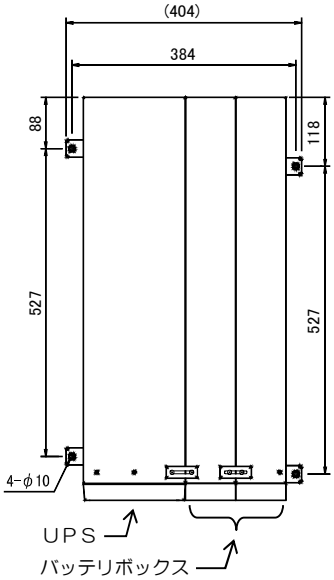
UPSS-20A3　30 分



UPSS-30A3　30 分

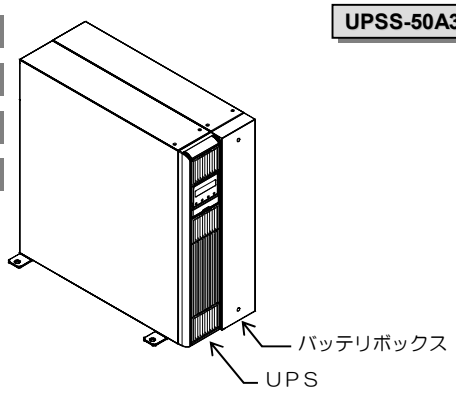


UPSS-50A3　30 分

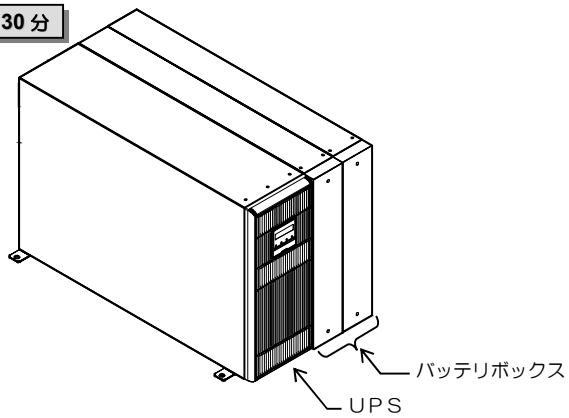


④ 床固定金具側を下にして、下図の配置でＵＰＳとバッテリボックスを据え付け場所の固定穴に合うように置きます。

UPSS-10A3　30 分
UPSS-15A3　30 分
UPSS-20A3　30 分
UPSS-30A3　30 分



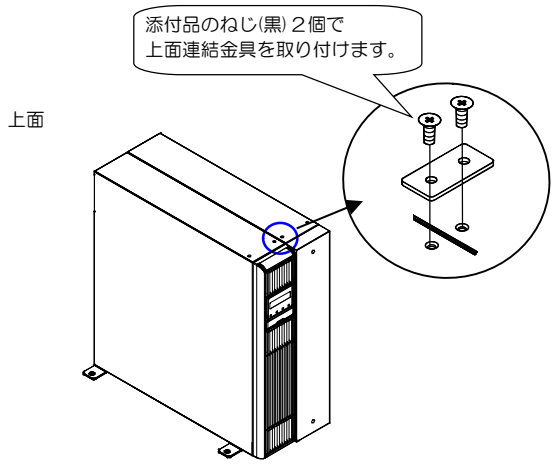
UPSS-50A3　30 分

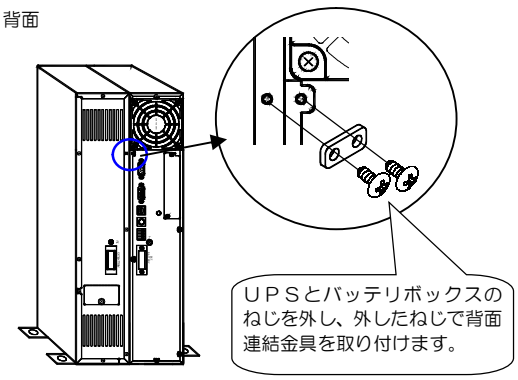


⑤ バッテリボックスをアンカーボルトで固定します。
アンカーボルトは添付されていません。設置場所の床に合ったものをお客様で準備してください。

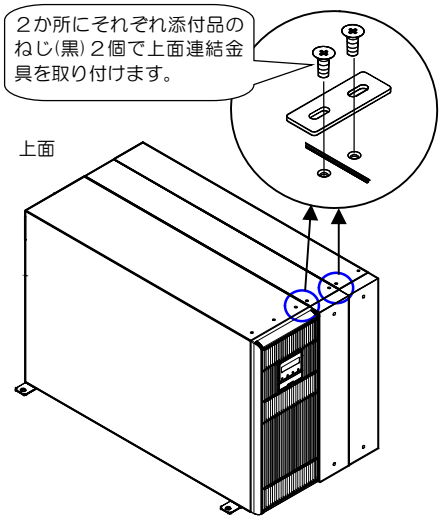
⑦ バッテリボックスとＵＰＳの上面、背面を連結金具で固定します。

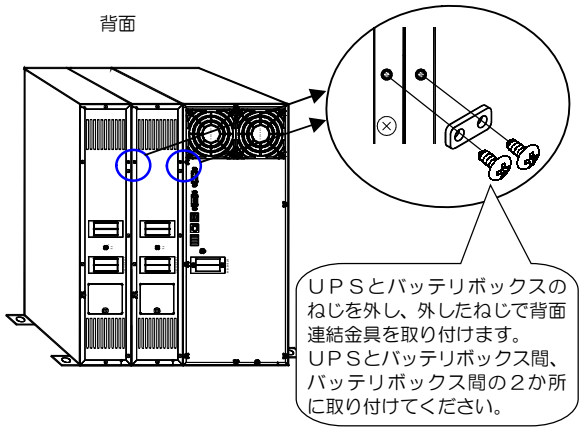
UPSS-10A3　30 分　**UPSS-20A3　30 分**
UPSS-15A3　30 分　**UPSS-30A3　30 分**





UPSS-50A3　30 分

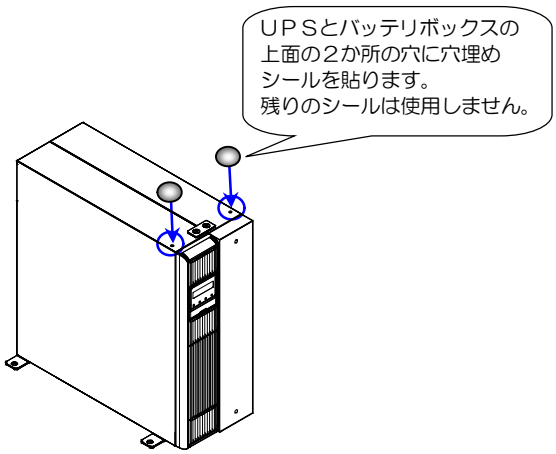


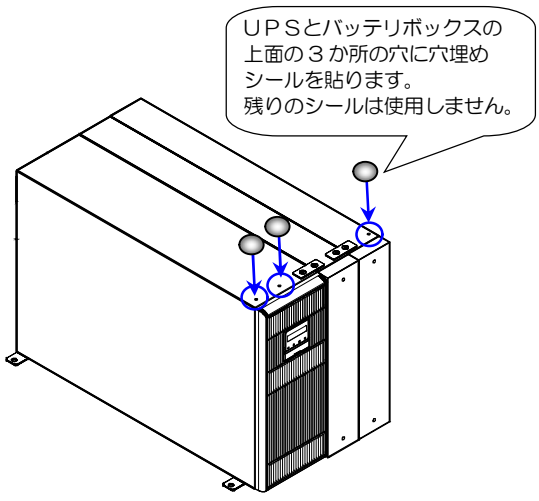


ご注意

連結金具で固定した後、ＵＰＳとバッテリボックスが連結されたままの状態で移動しないでください。

⑧ ＵＰＳおよびバッテリ盤の上面の穴に穴埋めシールを貼ります。





⑨ バッテリボックスとＵＰＳが確実に固定されていることを確認します。

「3.5 ＵＰＳとバッテリボックスを接続する」へ進みます。

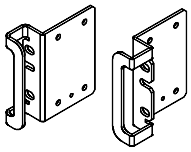
3.4 ＵＰＳとバッテリボックスをラックに搭載する場合

注 意

- ＵＰＳおよびバッテリボックスをラックに確実に搭載してください。地震などの衝撃、振動により、ＵＰＳの移動、落下などで、けがのおそれがあります。
- ＵＰＳおよびバッテリボックスの質量は、11ページの表のとおりです。安全靴を着用して作業してください。ＵＰＳおよびバッテリボックスを持ち上げる際には、必ず二人以上で作業してください。ＵＰＳおよびバッテリボックスの落下によりけがのおそれがあります。また腰痛予防に心がけてください。
- 安全のため、ラック搭載時はＬ型レール（サポートレール）を使用してください。
  Ｌ型レールについては、ご使用のラックメーカまたは購入先へお問い合せください。
- 金具の取り付け、設置の際に、手などをはさまないようにご注意ください。

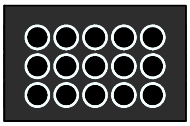
19インチラック搭載用です。換気機能のあるラックに搭載してください。「3.2 設置スペースを確認する」をご覧になり、正面および背面に吸排気スペースを確保してください。
ＵＰＳおよびバッテリボックスは重量物ですので、ラックの最下部へ収納することをおすすめします。ラック搭載にはＬ型レール（サポートレール）を使用してください。Ｌ型レールについては、ご使用のラックメーカまたは購入先へお問い合せください。
ＵＰＳおよびバッテリボックスが故障するおそれがありますので、ＵＰＳおよびバッテリボックスの上に物を置かないでください。

① 下記の添付品を用意します。



ラック取付金具
左右各１個

ラック取付金具用ねじ（黒）
M4×6　４個

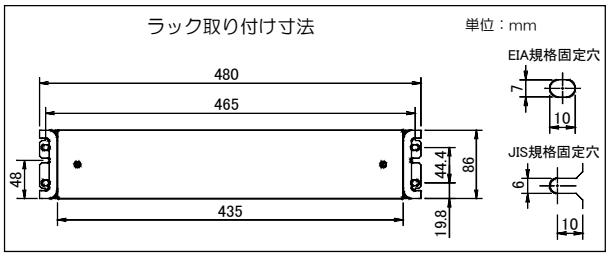


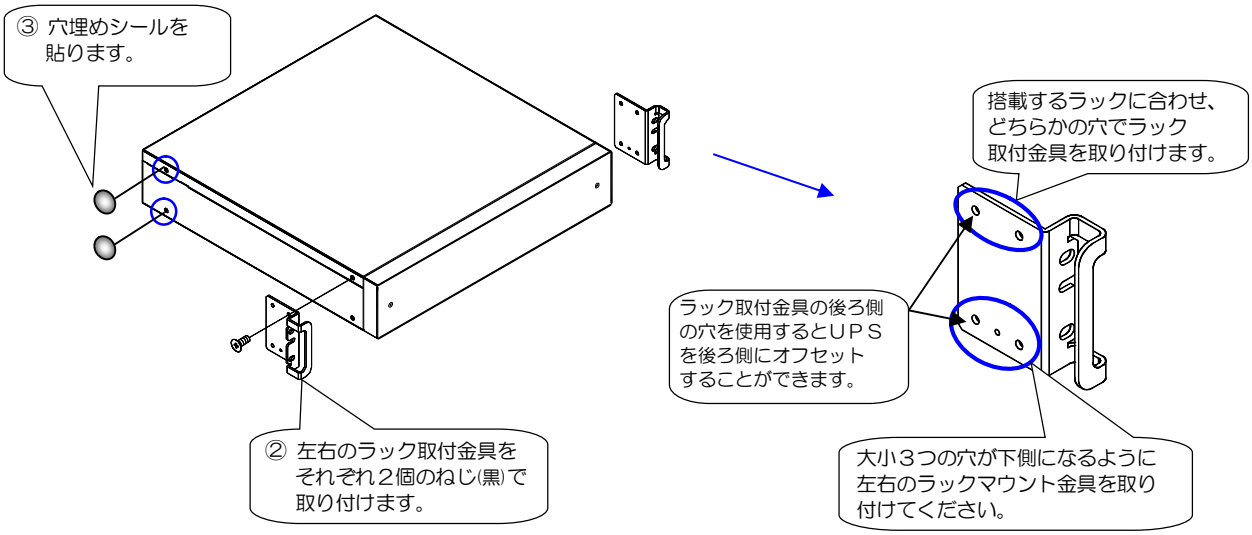
穴埋めシールのシート　１枚
（ＵＰＳの添付品です。）

② 左右のラック取付金具をねじでバッテリボックスとＵＰＳに取り付けます。
ＵＰＳへのラック取付金具の取付方法は、ＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。

③ 穴埋めシールを左側面２か所の穴に貼ります。

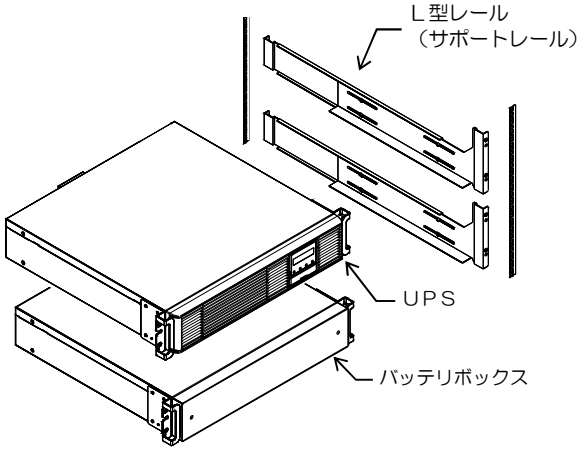
ご注意
ラック取付金具の取り付けには、ラック取付金具用のねじ（黒色）を使用してください。床固定金具用のねじ（銀色）を使用しないでください。



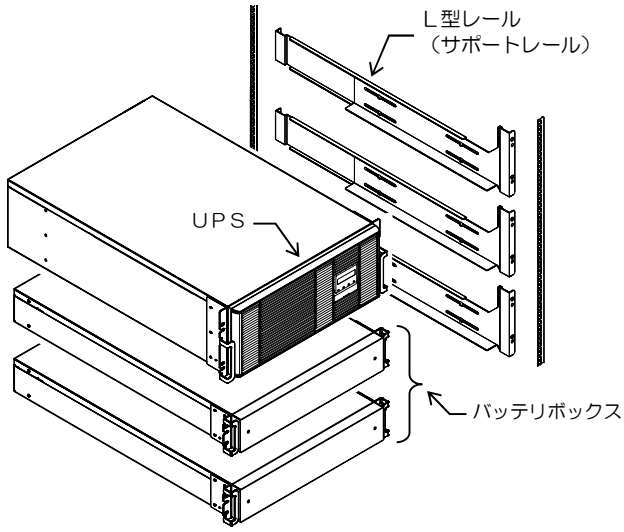


④　ＵＰＳが上側、バッテリボックスが下側になるように、Ｌ型レール（サポートレール）を使用してラックへ搭載します。

UPSS-10A3　30 分　**UPSS-20A3　30 分**
UPSS-15A3　30 分　**UPSS-30A3　30 分**



UPSS-50A3　30 分



ご注意

ＵＰＳおよびバッテリボックスそれぞれにＬ型レール（サポートレール）を使用してください。

⑤　確実にラックに固定されていることを確認します。

「3.5　ＵＰＳとバッテリボックスを接続する」へ進みます。

3.5 UPSとバッテリボックスを接続する

注 意

- サービス員以外は配線作業をしないでください。取扱説明書の指示どおりに配線作業をしてください。配線に不備があると、感電、火災の原因になることがあります。
- バッテリコネクタの差し込み、端子のねじの締め付けにゆるみがないように確実に接続してください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- 配線作業は、絶縁された手袋をするなどの対処をして行ってください。感電のおそれがあります。

UPSとバッテリボックスを接続します。
ここではラックに搭載した場合を例に説明します。縦置きの場合も同様に接続してください。

① 添付品のバッテリ接続ケーブルを準備します。

バッテリ接続ケーブル　1 本

※. 接続するUPSにより
コネクタの形状が異なります。

UPSS-50A3 の場合、バッテリボックス1台に1本、合計は2本必要です。

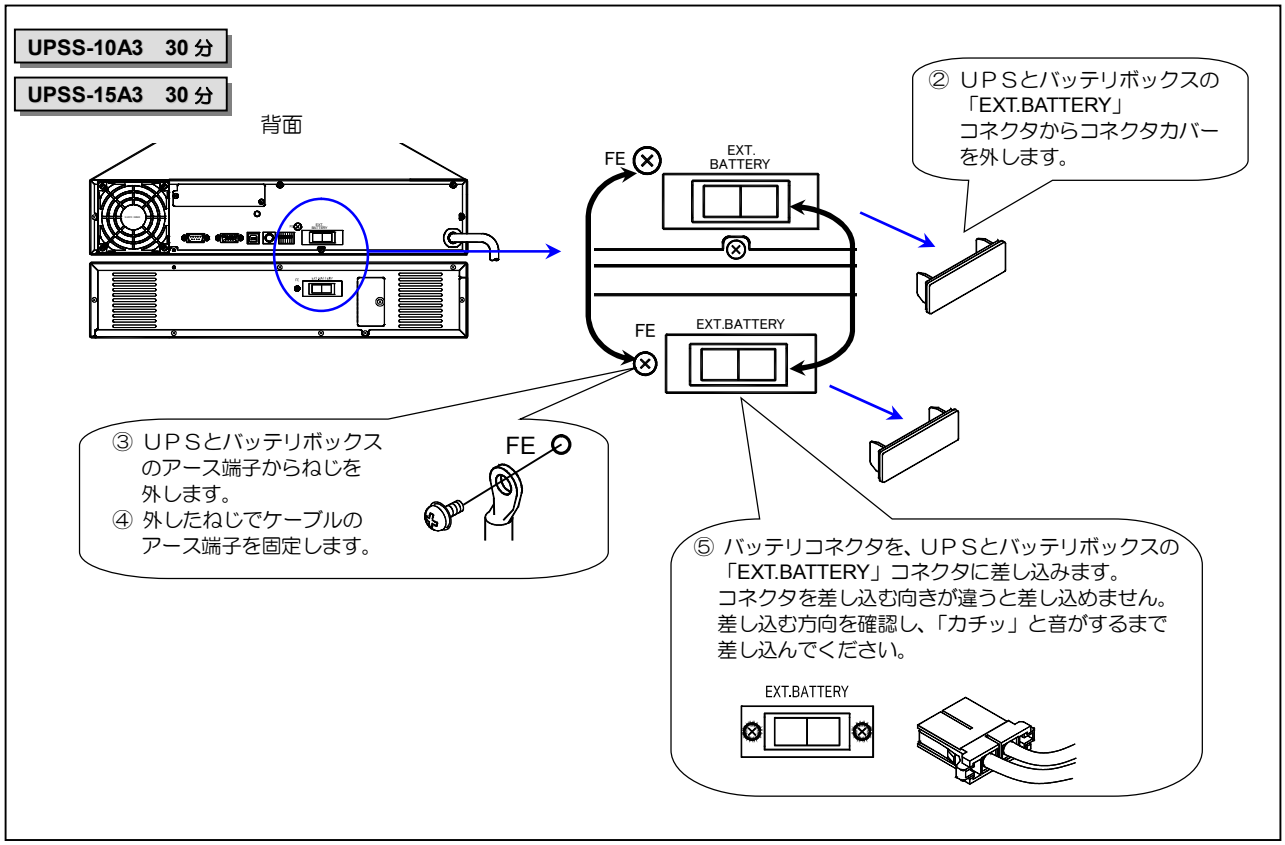
手順②～⑤は、ご使用になるUPSの説明図をご覧になり作業してください。

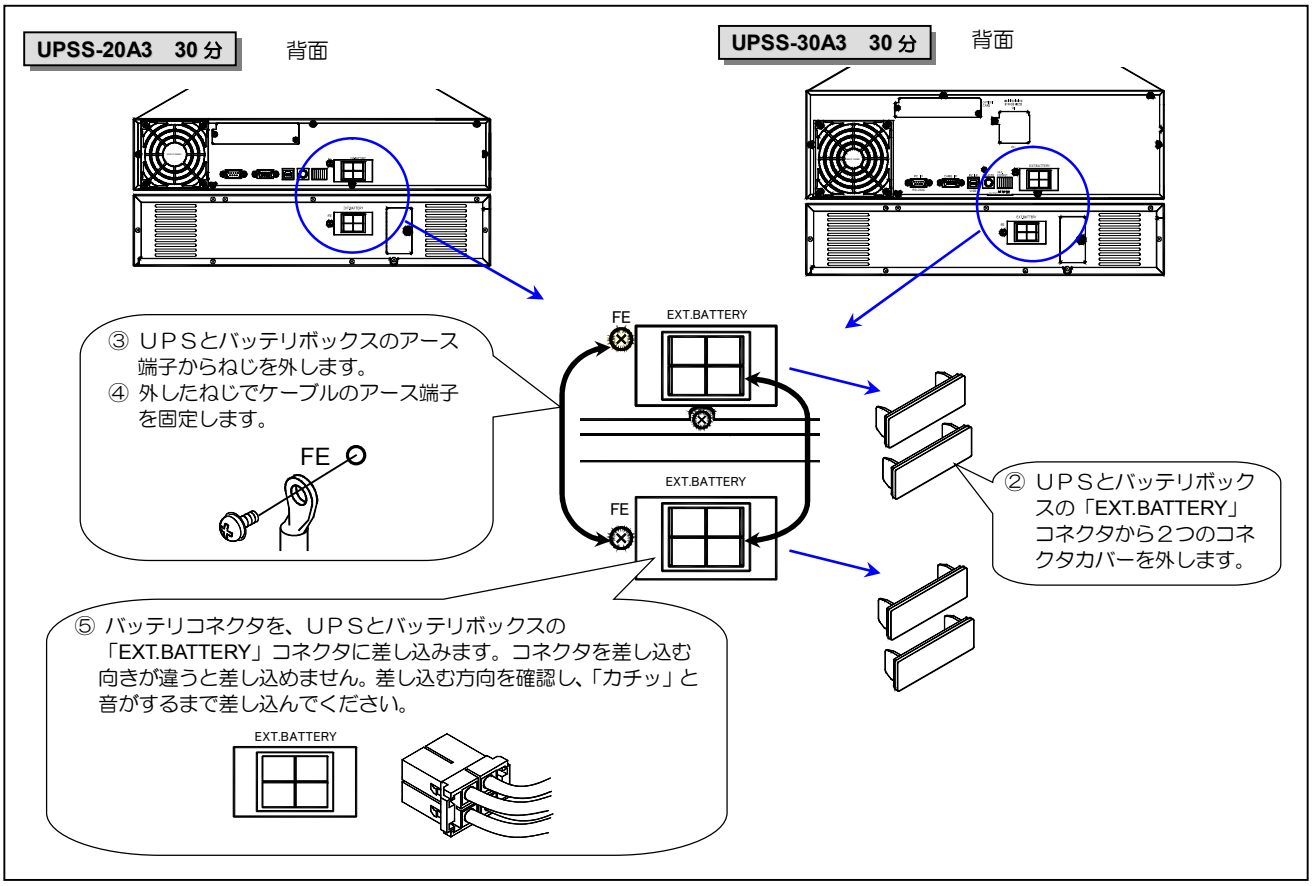
② UPSとバッテリボックスの背面のバッテリコネクタからコネクタカバーを取り外します。
③ UPSとバッテリボックスの背面のアース接続端子「FE」からねじを外します。
④ 添付品のバッテリ接続ケーブルのアース端子を外したねじで固定します。
⑤ UPSとバッテリボックスの「EXT.BATTERY」コネクタにバッテリ接続ケーブルのバッテリコネクタを差し込みます。

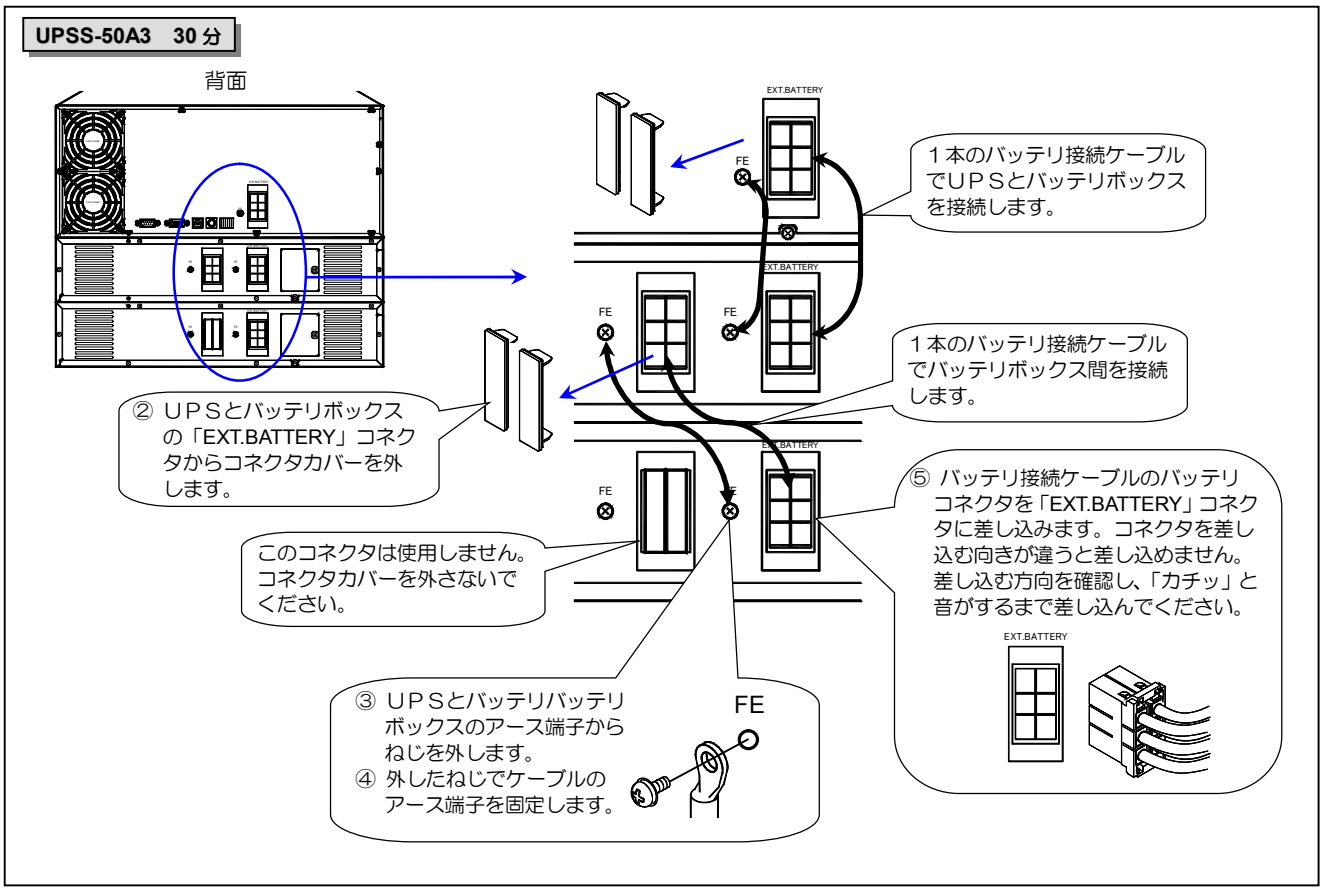
ご注意

UPSとバッテリボックスのバッテリコネクタが正しく接続されていないと、仕様時間どおりのバックアップができません。
すべてのバッテリコネクタを確実に接続してください。

UPSS-10A3　30 分
UPSS-15A3　30 分







⑥ UPSとバッテリボックス背面のすべてのコネクタが確実に差し込まれていること、アース端子のねじの締め付けにゆるみがないことを確認します。

ご注意

UPSの配線方法は、UPSの取扱説明書をご覧ください。 ⇨ UPSS-A3 取説

3.6 バッテリパックを搭載する

⚠ 注 意		• 取扱説明書の指示のとおりにＵＰＳの設置作業をしてください。設置工事に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。
		• 絶縁された手袋、安全靴を着用して設置作業をしてください。バッテリパックの質量は下記のとおりです。二人以上で作業してください。ＵＰＳへ搭載する際は、バッテリパックの底部を両手でささえ落とさないように注意してください。けがのおそれがあります。また、腰痛予防に心がけてください。

UPSS-10A3，15A3の場合、手順①～⑧の作業は必要ありません。手順⑨へ進んでください。

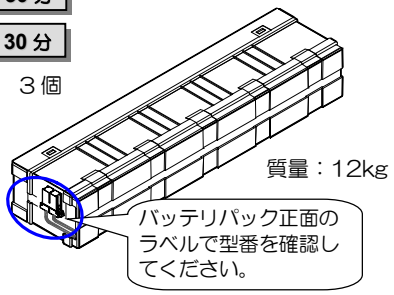
下記の手順でバッテリパックを搭載します。
ＵＰＳへのバッテリパックの搭載方法はＵＰＳの取扱説明書をご覧ください。

① バッテリパックを用意します。

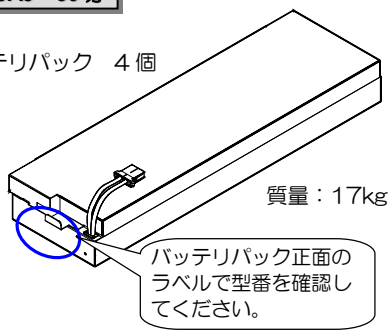
ＵＰＳ	バッテリボックス用		ＵＰＳ用	
	型番	数量	型番	数量
UPSS-20A3	BPA11K202AU0	3	BPA11K202AU0	2
UPSS-30A3 ※	BPA11K202AU0	3	BPA11K302AU0	3
UPSS-50A3	BPA11K502AU0	4	BPA11K502AU0	3

※ご注意
UPSS-30A3の場合、ＵＰＳに搭載するバッテリパックとバッテリボックスに搭載するバッテリパックが異なります。
型番を確認し、ＵＰＳ用と間違えないように注意してください。

UPSS-20A3　30 分
UPSS-30A3　30 分
バッテリパック　３個

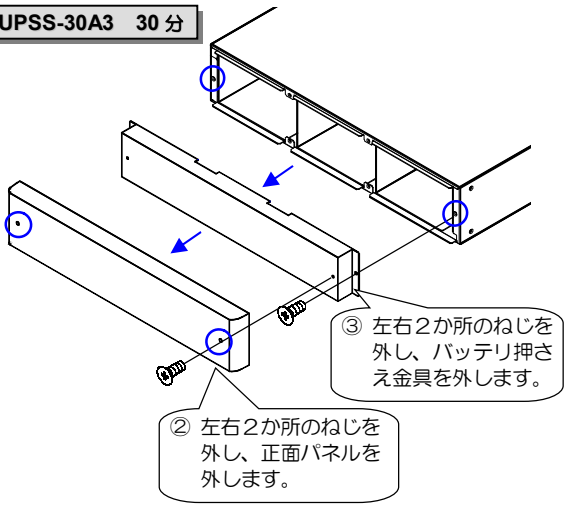


UPSS-50A3　30 分
バッテリパック　４個



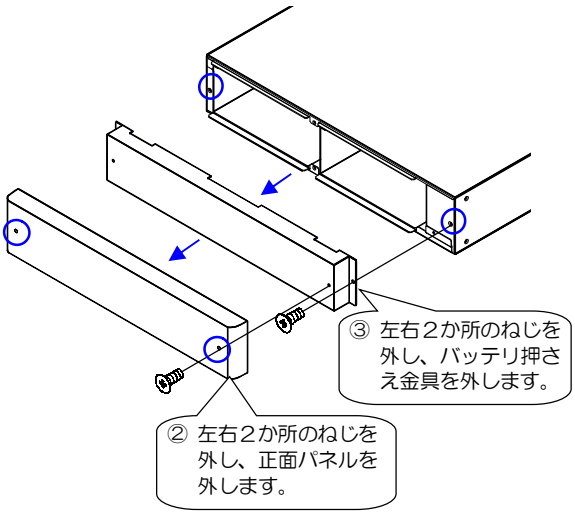
② バッテリボックス正面パネルの左右２か所のねじを外し、正面パネルを取り外します。
③ 左右２か所のねじを外し、バッテリ押さえ金具を取り外します。

UPSS-20A3　30 分
UPSS-30A3　30 分



次ページへ進みます。

UPSS-50A3　30 分



24ページへ進みます。

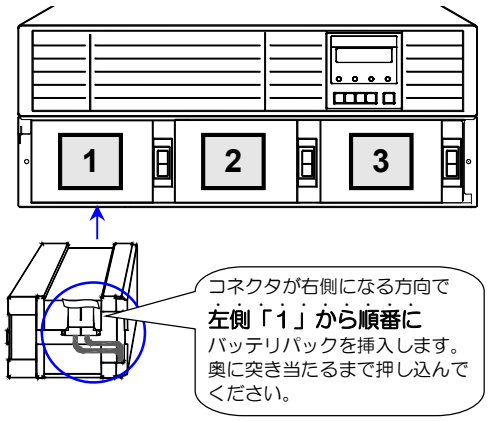
UPSS-20A3　30 分

UPSS-30A3　30 分

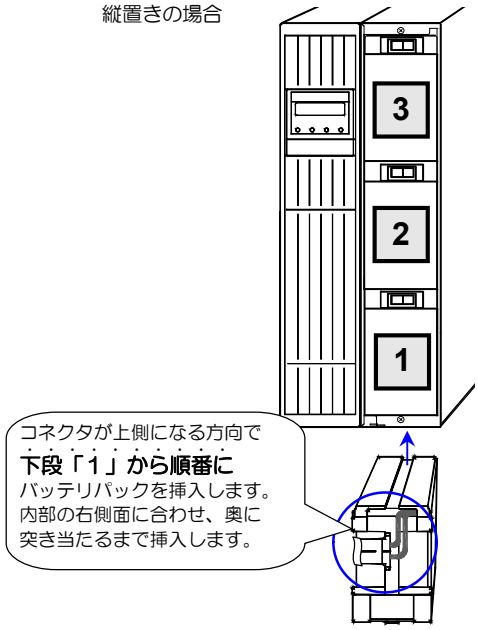
注 意	1個のバッテリパックの質量は12kgです。 バッテリパックは、横置きの場合は左側、縦置きの場合は下側から挿入してください。バッテリパックの落下によりけがのおそれがあります。

④ バッテリパックをバッテリボックスに挿入します。
バッテリパックを下図に指定する方向で、
「1」の位置から順番に挿入してください。

ラック搭載の場合

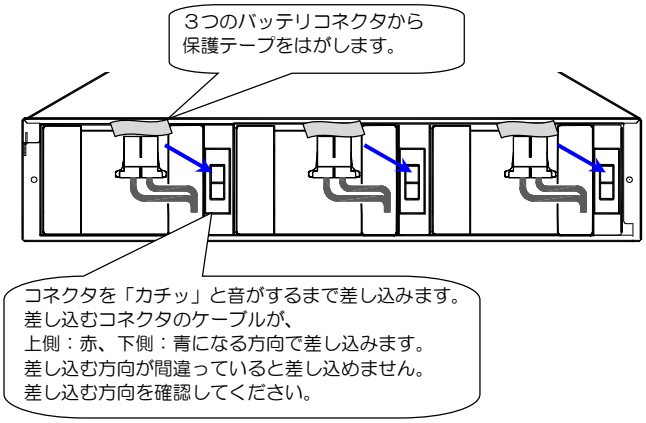


縦置きの場合



すべてのバッテリパックを搭載してからコネクタを接続します。
下図はラック搭載の場合を示します。縦置きの場合も同様に作業してください。

⑤ バッテリコネクタから保護テープをはがします。
⑥ 3か所のバッテリコネクタを差し込みます。



ご注意

UPSとバッテリボックスのバッテリコネクタが正しく接続されていないと、仕様時間どおりのバックアップができません。
すべてのバッテリコネクタを確実に接続してください。

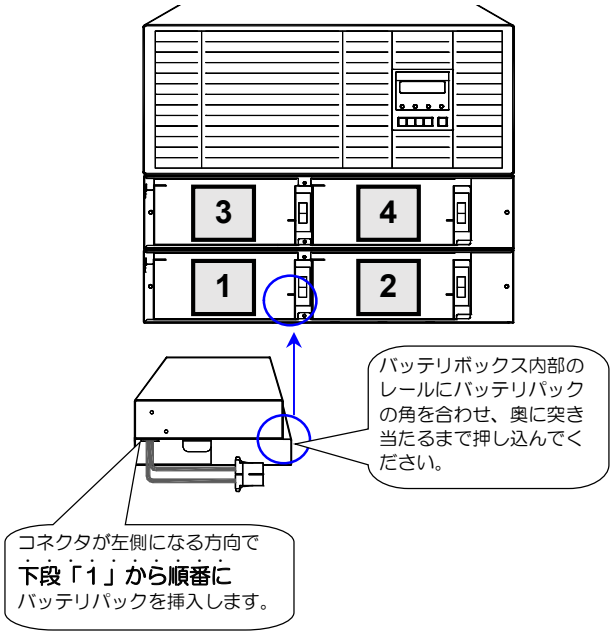
25ページへ進みます。

UPSS-50A3　30 分

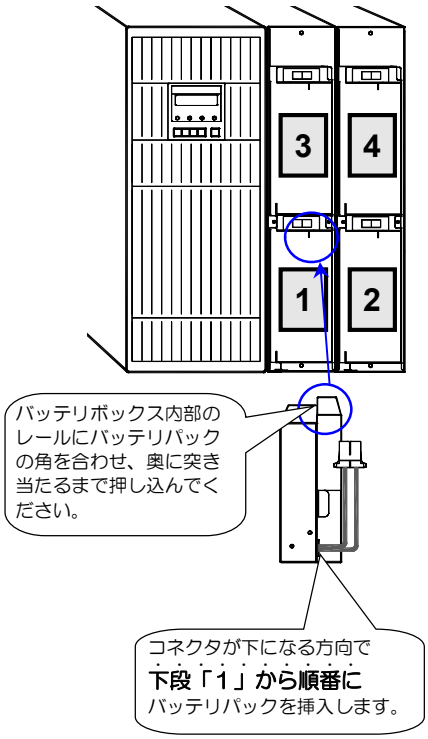
④ バッテリパックをバッテリボックスに挿入します。
バッテリパックを下図に指定する方向で、
「1」の位置から順番に挿入してください。

> **注 意**
> １個のバッテリパックの質量は17kgです。
> バッテリパックは、横置きの場合は左側、縦置きの場合は下側から挿入してください。バッテリパックの落下によりけがのおそれがあります。

ラック搭載の場合

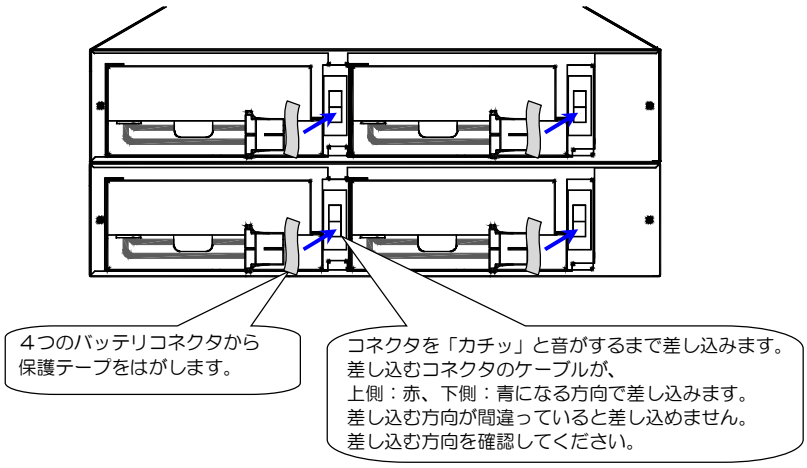


縦置きの場合



すべてのバッテリパックを搭載してからコネクタを接続します。
下図はラック搭載の場合を示します。縦置きの場合も同様に作業してください。

⑤ バッテリコネクタから保護テープをはがします。
⑥ ４か所のバッテリコネクタを差し込みます。

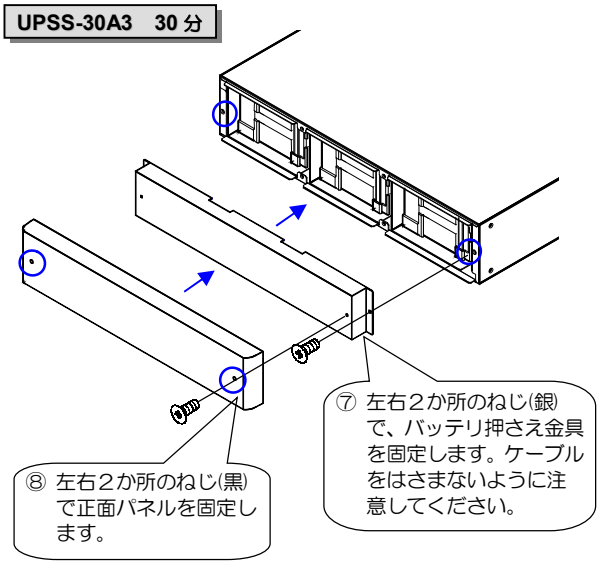


ご注意

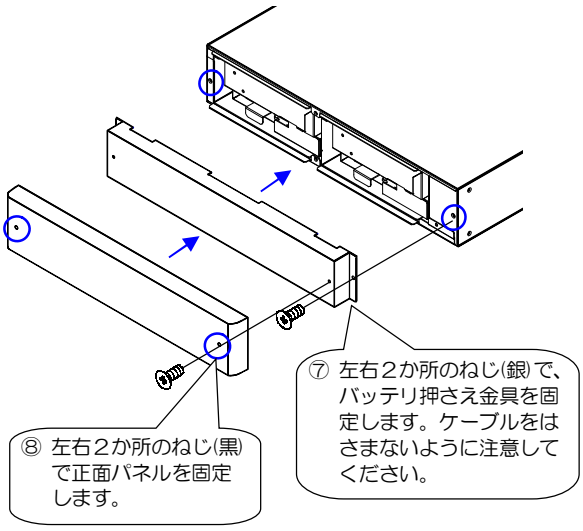
ＵＰＳとバッテリボックスのバッテリコネクタが正しく接続されていないと、仕様時間どおりのバックアップができません。
すべてのバッテリコネクタを確実に接続してください。

⑦ 左右２か所のねじで、バッテリ押さえ金具を取り付けます。
⑧ バッテリボックス正面パネルの左右２か所のねじで、正面パネルを取り付けます。

UPSS-20A3　30 分
UPSS-30A3　30 分



UPSS-50A3　30 分



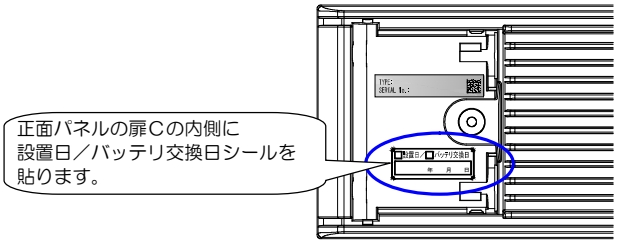
ご注意
バッテリ押さえ金具に無理な力をかけないと取り付けられないときは、バッテリパックが確実に押し込まれているか、またはバッテリコネクタが確実に差し込まれているか確認してください。

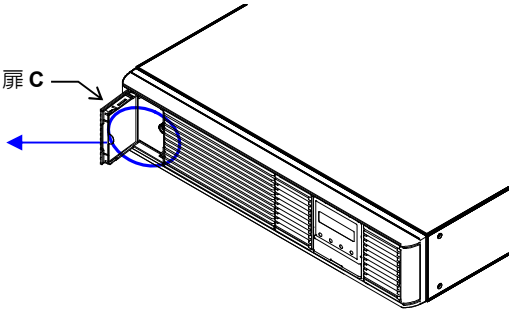
ＵＰＳに設置日／バッテリ交換日シールが貼られていない場合、既設ＵＰＳにバッテリボックスを増設した場合は、下記の手順で設置日／バッテリ交換日シールを貼り付けます。

⑨ 設置日／バッテリ交換日シールにバッテリボックスを設置した年月日を記入します。
油性ペンなど消えにくいペンを使用してください。

ご注意
設置日／バッテリ交換日シールは、日付を記入してから貼ってください。先にシールを貼ると日付を記入しにくくなります。

⑩ ＵＰＳの正面パネルの左側の扉Ｃの内側に、記入済みの「設置日／バッテリ交換日シール」を貼ります。





⑪ もとどおりに正面パネルの扉を閉めます。

以上で、バッテリ盤とＵＰＳの設置・配線は終了です。

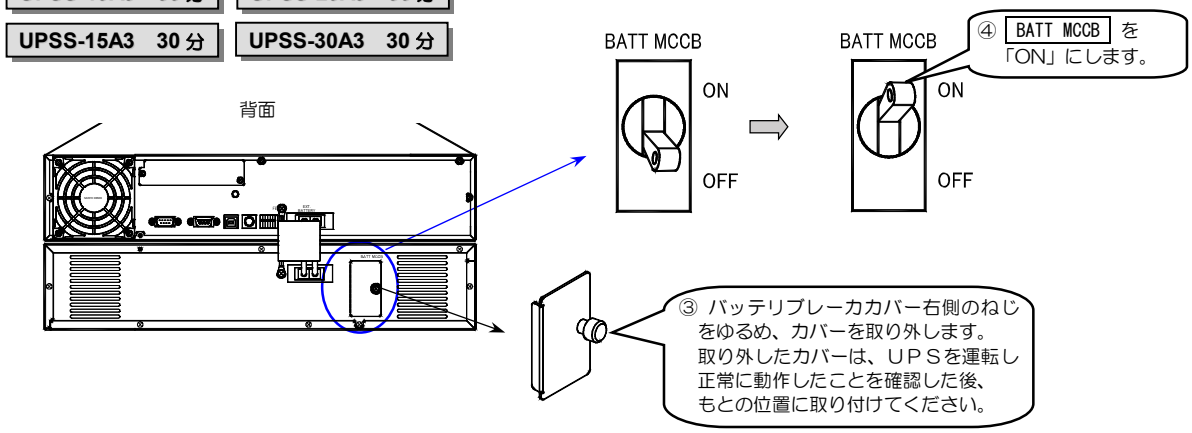
4. 運転前の準備

⚠ 注 意	• バッテリボックスとＵＰＳの設置・配線作業が完了している状態で実施してください。 正しく設置・配線されていない状態で作業をすると、けが、火災のおそれがあります。 • 取扱説明書の指示どおりに作業をしてください。作業手順に不備があると、感電、けが、火災のおそれがあります。

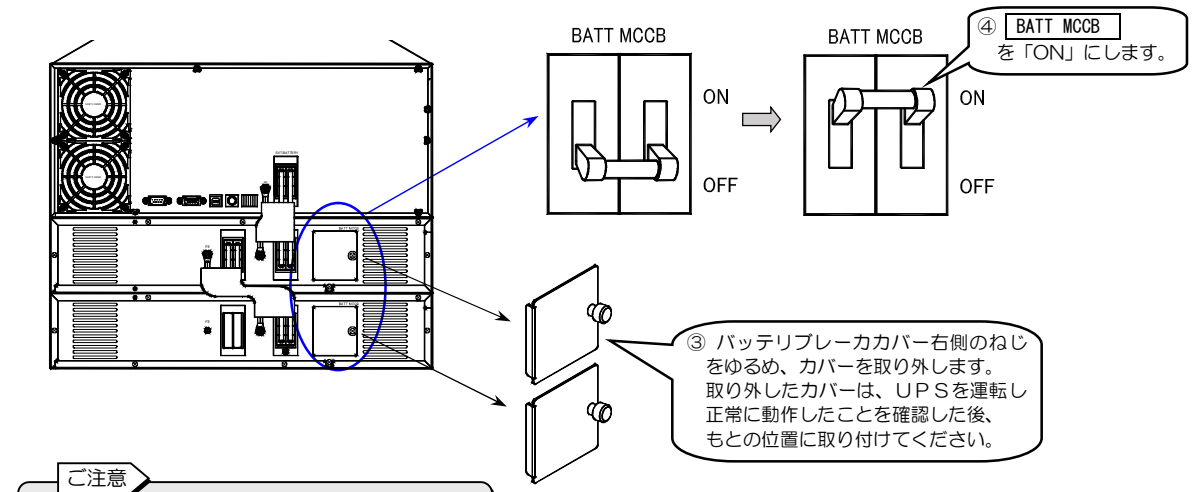
ＵＰＳを運転する前に、次の作業を実施してください。

① ＵＰＳとバッテリボックスが正しく設置、接続されていることを確認します。
② ＵＰＳが停止していることを確認します。
③ バッテリボックス背面のバッテリブレーカカバーを外します。
④ バッテリブレーカを「ON」にします。

UPSS-10A3　30 分　**UPSS-20A3　30 分**
UPSS-15A3　30 分　**UPSS-30A3　30 分**



UPSS-50A3　30 分



ご注意
UPSS-50A3 の場合、必ず２つのバッテリボックスのバッテリブレーカを「ON」にしてください。「OFF」のままのバッテリブレーカがあると仕様時間どおりのバックアップができません。

⑤ バッテリを充電します。
充電手順の詳細は、UPSS-A3 の取扱説明書「ＵＰＳを充電する」の項目をご覧ください。
充電時間は、バックアップ時間により異なります。下表で充電時間を確認してください。

ＵＰＳ	UPSS-10A3 30分	UPSS-15A3 30分	UPSS-20A3 30分	UPSS-30A3 30分	UPSS-50A3 30分
充電時間	20 時間	24 時間	24 時間	21 時間	20 時間

⑥ 停電動作テストをします。
詳細は UPSS-A3 の取扱説明書「ＵＰＳの停電動作テストをする」をご覧ください。

⑦ ＵＰＳの運転操作をします。
詳細は UPSS-A3 の取扱説明書「ＵＰＳを運転する」をご覧ください。

運転前の準備についてのご注意

- 前述の手順④で必ずバッテリブレーカを「ON」にしてください。バッテリブレーカが「OFF」のままＵＰＳを運転した場合、停電時、バックアップ時間が10分になります。仕様時間どおりのバックアップができません。
- 停電時に確実にバックアップするためには指定時間以上の充電が必要ですが、ＵＰＳを運転するとバッテリは充電されますので、ＵＰＳの初起動時、十分に充電されていない場合でも、負荷機器を接続してご使用になれます。
  ただし、この段階で停電が発生すると、ＵＰＳのバックアップ機能が十分に発揮されない場合があります。

5. 点検・保守

⚠ 注 意		• サービス員以外はバッテリボックスの点検・保守をしないでください。 感電、やけど、けが、発煙、発火のおそれがあります • UPS、バッテリボックス、および周辺の清掃の際にUPS背面のファンに触れないでください。 けがのおそれがあります。
		• バッテリは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたバッテリを使用すると、液漏れが発生し最悪の場合は、発煙、発火、火災のおそれがあります。予防保全のため、早めに交換してください。
		• 点検は、UPS、バッテリボックスを完全に停止させ、入力電源を遮断してから行ってください。感電のおそれがあります。 • バッテリが接続されており、電気部品は充電されていますので絶対に手を触れないでください。感電のおそれがあります。 • 清掃には、濡れた布などを使用しないでください。感電のおそれがあります。
		• 清掃するときに、UPSのコンセントまたは端子台からの出力に掃除機を接続しないでください。 発煙、発火のおそれがあります。 • バッテリの清掃には、ガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や中性洗剤などの洗剤を使用しないでください。これらを付着させると電槽にひび割れをおこし漏液して、漏電や火災の原因になることがあります。

日常、次の項目をチェックしてください。

チェックする項目・内容	対　応
UPSおよびバッテリボックスから、異常な振動、異常な加熱、変な音、変な臭いが発生していないですか？	異常がある場合は、すぐに運転を停止して、購入先または当社までご連絡ください。
UPSおよびバッテリボックスの外観に傷や変形はないですか？	UPSおよびバッテリボックスの内部に影響があるようなへこみなどの損傷、変形がある場合は、購入先または当社までご連絡ください。危険ですので、そのままの状態で使用しないでください。
UPSおよびバッテリボックスの周辺は適切な環境になっていますか？	使用環境は温度 -10～55℃、相対湿度10～90% です。 周囲温度が40℃を超えるとUPSの充電が停止しますので、十分にバックアップすることが出来なくなります。また、設置環境が適切でないと、UPSおよびバッテリボックスが故障するおそれがあります。 設置場所がつぎのような環境の場合は、環境を改善してください。 ● 周囲温度が 55℃を超える場合 ● 高湿度の場合 ● ホコリが多い場合 ● 塩分や腐食性ガスがある場合 ● 振動、衝撃がある場合 ● 濡れたり、結露したりする場所
UPSおよびバッテリボックスの正面、背面、両側面に指定されたスペースが確保されていますか？ 周囲に物が積み重なっていたり、UPSの吸排気口または、バッテリボックスの換気口が障害物でふさがれていないですか？	バッテリボックス周囲の指定スペースは「3. バッテリボックスの設置・配線」をご覧になり確認してください。 周囲に物が積み重なっていたり、吸排気口、換気口をふさぐ障害物がある場合は、取り除いてください。 ファンの吸排気用や換気口スペースがふさがれていると、装置内部の温度が上昇し、発煙、発火、故障の原因となります。
UPSおよびバッテリボックスの吸排気口、換気口および入出力端子台、コンセントにゴミ、ホコリがついていませんか？	ゴミ、ホコリがついている場合は除去してください。 ゴミなどが内部の部品につくと故障の原因となります。また、入出力端子台、コンセントにホコリがつくと火災の原因になります。
バッテリは劣化していませんか？※ 停電時に負荷機器をバックアップできる状態になっていますか？	UPSの取扱説明書「バッテリの点検」の項目をご覧になり、バッテリの状態を確認してください。 ⇨

※バッテリ交換時期について

バッテリの寿命は、周囲温度、放電回数など使用条件によって短縮します。特に温度による影響は大きく、周囲温度が高いとバッテリ寿命は短縮します。また、頻繁に停電が発生する環境で使用した場合、バッテリ寿命はさらに短縮する可能性があります。寿命を過ぎたバッテリを使用すると、液漏れが発生し最悪の場合は、発煙、発火のおそれがあります。予防保全のため早めに交換を依頼してください。

使用温度環境	バッテリ期待寿命	バッテリ交換時期
25℃	5　年	4．5年

6. 仕様

UPS	バックアップ時間 ※5	バッテリボックス		定格容量 (20 時間率)	バッテリ結線		公称電圧	容量 Ah･セル	合計容量 ※4 Ah･セル
		型番	構成台数		直列	並列			
UPSS-10A3	30 分 ※2	BCA11K009AU41SD0	1	9 Ah	4	2	48 V	216	432
UPSS-15A3	30 分 ※2	BCA11K006AU43SD0	1	6 Ah	4	3	48 V	432	720
UPSS-20A3	30 分 ※2	BCA11K006AU53SD0	1	6 Ah	5	3	60 V	540	900
UPSS-30A3	30 分 ※3	BCA11K006AU53SD0	1	6 Ah	5	3	60 V	540	1,080
UPSS-50A3	30 分 ※3	BCA11K009AU52SD1	2	9 Ah	5	2 ※6	60 V	540 ※6	1,890

※1．バッテリの期待寿命は約5年（25℃）です。周囲温度が30℃を超える環境で使用するとバッテリ寿命が短くなります。
※2．UPSの負荷力率が0.8（遅れ）でのバックアップ時間です。
※3．UPSの負荷力率が0.7（遅れ）でのバックアップ時間です。

負荷力率によるUPS出力容量

型番	負荷力率 0.8（遅れ）	負荷力率 0.7（遅れ）
UPSS-10A3	1kVA / 0.8kW	1kVA / 0.7kW
UPSS-15A3	1.5kVA / 1.2kW	1.5kVA / 1.05kW
UPSS-20A3	2kVA / 1.6kW	2kVA / 1.4kW
UPSS-30A3	3kVA / 2.4kW	3kVA / 2.1kW
UPSS-50A3	5kVA / 4kW	5kVA / 3.5kW

※4．UPS内蔵のバッテリとバッテリボックスのバッテリの合計値です。
※5．バックアップ時間は周囲温度25℃のときの初期値です。
※6．バッテリボックス1台の値です。

UPSソリューションズ株式会社

【本社】〒101-0032
東京都千代田区岩本町 2-13-6 ミツボシ第 3 ビル
TEL : 03-5833-4061　FAX : 03-3861-0920
テクニカル・サポートグループ

【西日本支店】〒532-0011
大阪市淀川区西中島 6-11-25 第 10 新大阪ビル 6F
TEL : 06-6838-4881　FAX : 06-6838-4882

【中部支店】〒464-0074
名古屋市千種区仲田 2-15-12　ワークビル 4F
TEL : 052-734-9200　FAX : 052-734-9500

【北海道営業所】〒060-0004
札幌市中央区北4条西 12-1-28 北 4 条ビル 7F
TEL : 011-280-0015　FAX : 011-280-0016

【九州営業所】〒812-0011
福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第 7 岡部ビル 3F
TEL : 092-481-3441　FAX : 092-481-3442

http:// www.ups-sol.com/　　support@ups-sol.com

受付時間 平日 9:00～18:00（当社休日を除く）

本取扱説明書に記載された会社名と商品名は、それぞれ各社の称号、商標または登録商標です。
※本取扱説明書記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

各種ダウンロード URL　http://www.ups-sol.com/download/index.html